



横浜市 技連協だより

創刊号

平成9年12月1日

技連協だより発刊に際して

横浜市技能職団体連絡協議会

会長 川上三寶

お陰様をもちまして、このたび横浜市技能職団体連絡協議会機関紙として、「技連協だより」を発行、皆様のお手元にお目通しいただけることになりました。

技連協の長い歴史の中で、周年行事の一環として記念誌や不定期・臨時号的に、広報紙を発行した経緯はありますが、毎年、確実に発行できるまでには至っておりませんでした。

何とか、年に数度は、機関紙の発行をして、情報交換のひとつとして、活用したいということとは、長い間の念願であり、課題でありました。

このたび、私共、技連協は、別掲のとおり、国の顕彰制度であります「技能振興に係る優良団体」として、労働大臣表彰を受賞しました。

このことは、長年にわたる、技連協加入各団体・会員各位のご理解、ご協力による諸活動が公に認められたものと考えられます。

この榮譽を加入各団体・会員の皆様に等しくお伝えし、共に、喜び、名譽を分かち合わなければならぬことはもとよりのことであります。そこで、どのようなようにお伝えするか、三役とも

協議をさせていただき、この際、「念願の機関紙を発行し、併せてお知らせしたらどうだろう」ということになりました。

本来ならば、役員会にお諮りするところでありますが、労働大臣表彰受賞後、あまり時間をおかず、早い時期にお知らせをしたいとの気持ちから決断をさせていただきました。どうかご了解いただきますようお願い申し上げます。

なお、これを機会に、あまり大上段に構えるとなかなか発行しにくい面もありますので、肩肘はらず、気軽に技連協をめぐるニュースなどを取り上げ、引き続き、適宜発行をして行きたいと考えております。

今回の発行にあたりましては、手作り機関紙として事務局の皆様には、編集などに大変なご苦勞をお掛けしましたが、本紙上をお借りして厚く御礼申し上げます。また、今後もどうぞご支援、ご指導のほどお願いいたしますと共に、技連協加入各団体・会員の皆様のますますのご隆盛を祈念いたしまして、機関紙発行の経緯とご挨拶とさせていただきます。

技能まつり

秋晴れのもと、
最高の人出で賑わう

第十八回よこはま技能まつりは、十月二十六日（日）各団体・会員の皆様のご参加、ご協力のもと、盛大に開催されました。

横浜市薦工業連合会さんの威勢のいい木遣り、纏い振りで開会セレモニーを大いに盛り上げ、華々しくまつりはスタートしました。

当日は、高秀横浜市長も、ご夫妻で来賓としてお越しいただき、薦の頭連に続き、各テントを巡り、お声をお掛けいただきました。

奥様には、お孫さんへのおみやげや自宅でお使いになられると、いくつかの道具類をお求めいただきました。

横浜マイスター会のエディー今村さん（美容師）によるステージでのウエディングヘアショーが始まると、市長ご夫妻



高秀市長も熱心に質問
技連協青年部による、板金お絵書きコーナーにて

は、ステージ前の石の円形階段に市民の方々と一緒に腰掛けられ、文字どおり皆さんと輪になって、きらびやかに展開されたショーに見入っておられました。

十八回目の今回は、横浜国際交流月間にあたっており、交流行事の一環として来浜中の上海市技能職技術交流団の塗装技能士と中国服裁縫師の皆様7名の方々が特別参加をされ、ステージパフォーマンスタスとして、塗装技能士の方が看板木目



ちびっこ工作コーナーは、親子づれで大賑わい

塗装の実技を、中国服裁縫師の方が、チャイナドレスのボタン付けの手技をご披露してくださいました。

ステージ上で制作されました看板を両国技能職交流のしるしとして、横浜市技能職団体連絡協議会に寄贈したいというお申し出があり、急遽、川上会長がステージに上がり、お受けするというハプニングがあり、和気あいあいのうちに国際交流も果たすことができました。

寄贈された看板は、技能文化会館の技能職交流室に掲出保管いたします。

また、丁度、第二期のマイスターが誕生した直後で、今年度から技連協に加入された横浜マイスター会の方々も順次、その卓越した技を披露されました。

汗ばむような好天に恵まれ、成功裡に終了したと思われませんが、なお、いくつかの反省点もあるようです。来年につなげて、更なる充実したお祭りをめざして頑張りましょう。



来年もよろしくね

労働大臣表彰決定

技能振興に係わる優良団体 として県下初受賞

私ども、横浜市技能職団体連絡協議会の長年にわたる技能振興等の活動に対し、このたび、「平成九年度・認定職業訓練及び技能検定に係わる優良事業所・団体及び功労者、並びに技能振興に係わる優良事業所及び団体の労働大臣表彰」という、いささか長い名称の賞ですが、「技能振興に係わる優良団体の部」の表彰対象者として、神奈川県知事の推薦が得られ、晴れて労働大臣表彰の荣誉に輝きました。

この表彰制度は、職業能力開発促進月間(十月)の行事のひとつとして、労働省が実施しているものですが、県知事の審査を経た上で、更に、国の認定を要する大変厳しいものです。

表彰理由は、「技能振興の推進について、その業績が極めて優良で、他の模範になると認められ、技能振興の推進と

技能水準の向上に多大な貢献があった」ということとあります。

神奈川県では、この大臣表彰制度が発足(平成7年度)以来、各部門を通じて、私どもの技連協が、初受賞であり、大変、名誉なことであるといえます。

私どもが、長年にわたり取り組んできた、異業種交流、後継者育成活動、研修会などの研鑽活動、技能まつりを通じての、市民との触れ合い、啓蒙、啓発活動などが、ここに大臣表彰という荣誉に結びつき、その活動が国においても認められたということといたえます。

今後、この大臣表彰を、更なる糧として、一層、技能の、そして技能職の振興、発展のために、活動を前進させたいものです。

表彰式は、去る、十一月二十七日(木)に、東京の中野サンプラザホールで行なわれました。

当日は、川上会長が、会員の皆様を代表して出席、受賞をいたしました。

平成九年度技連協研修会

高秀横浜市長を講師に 迎えて開催

平成九年度の技連協研修会は、七月二十二日（火）、技連協総会に引き続き、高秀市長を講師にお迎えし、技能文化会館ホールに、二百名におよぶ会員が参加し、熱心に聴講いたしました。

テーマは、「ざっくばらん、これからの横浜」です。

「ざっくばらんということですので、ざっくばらんなお話をしたいと思えます」という切り出しで講演が始まりました。

お話は、技能の重要性、職人さん達への期待を込めての熱い内容でした。

「講演要旨」

工学とか技術とかは、ある程度は計算ずくですが、あるところは、自分の長年の経験、勘で、「エイッ」とやるところが何%か残ると思えます。

あるアメリカ企業が、京浜工業地帯に進出したいという話が進んでいます、

その理由は、「周辺に世界一の金型産業があるからだ」ということです。技能、職人さんを必要とする産業なのです。

ところが、日本の産業の中には、そういう着目をしないで、賃金が安い、マーケットが近いなど、それだけで、海外に出て行く、自分達の下の優秀な技術とか技能に対する感覚が少ないケースがあります。

昔は、「手に職を」という言葉がよく使われましたが、今の親御さんはそんなことは言いませんね。モノづくりより、書類に判を押すような事務みたいな仕事がいいと言う。しかし、モノづくりが好

きなお子さんだっているでしょうし、はじめからモノづくりに触れないのはおかしい。

モノづくりに従事している人達の割合は確かに減っていますが、モノづくりの大切さ、重要さというのは昔と変わっていません。皆さんのような立派な技能者になるには厳しい修行が必要なので、今の若い人たちには敬遠されるのでしようが、モノづくりの喜びを若い世代に伝えていただいで、ぜひ後継者を育てていただきたい。

いわゆるモノづくりというのは、何も工場でいっぺんに作るだけでなく、広い意味のモノづくりをもう一回、我々は考える必要があるのではないかと思います。

市長になってみて、本当にこの横浜には優秀な技能職の方が多いいんだなと感じています。そして、いわゆる職人気質の方も非常に多いと思います。

外から見ると、横浜というのは本当に多勢のいい職人さん、いい技能職の方々がいる町だなと、そのことを横浜のシーサールスにしたいと考えています。



高秀市長にはざっくばらんにお話し
いただきました。

三市技連協青年部交流会

篆刻（てんこく）

実習会に悪戦苦闘

第十二回三市技連協青年部交流会が平成九年九月十四日（日）に当番市の川崎市技連協青年部の主催で、「てくのかわさき」で開催され、横浜市から三木青年部長他九名が参加しました。

川崎、藤沢、横浜三市に加え、今回、富士市からも特別参加があり、総勢三十六名の参加となり、賑やかな会となりました。

昨年、横浜市の当番の際に、「豆腐作り」に挑戦したところから、今回も実習を通じての交流会となりました。

テーマは「篆刻実習会・石印をつくる」です。

川崎市印章業組合の先生の協力、指導により、各人に用意された、印床（篆刻台）、印刀、印材（青田石）に向かってそれぞれが格闘することとなりました。

石の固さと、自らの無器用さを、参加者みんなが感じたようでした。



参加した事務局次長の作品、性格を反映して、全体に斜に構えた印相です。ちなみに、押したとき、文字が白い印を、「白文」あるいは「陰文」というそうです。

施設視察研修会

昨年に引き続き本年も実施

東芝磯子エンジニアリングセンターへ会員の皆様の見聞を広める機会として、昨年、新横浜に建設中でした、横浜国際総合競技場を視察いたしました。今年も、引き続き施設視察研修会を実施することになりました。

今回は、東京電力神奈川支店のご協力を得まして、電源開発との関わりから、原子力発電所・原子炉設備等の製作を手掛けている、東芝磯子エンジニアリングセンターを視察することになりました。視察にあたっては、東京電力より送迎バスを差し向けていただきます。

十二月一日（月）の技能まつり反省会、年末交流会に先立って視察いたします。

平成9年度 横浜市技能職団体連絡協議会主要行事表

年月日	事業・行事内容	年月日	事業・行事内容	年月日	事業・行事内容
9. 6. 4	平成8年度会計監査	9. 9. 4	技能まつり参加団体説明会	10. 2~3 予定	総務企画部会 (30周年事業検討会)
9. 6. 11	三役会	9.10.26	技能まつり	10. 3予定	ボウリング大会
9. 6. 17	青年部総会	9.11.27	労働大臣表彰式		
9. 6. 18	三役会 常任理事会 理事会 交流会(歓送迎会)	9.12. 1	施設見学会 技能まつり反省会 年末交流会		
9. 7. 22	技能まつり実行委員会 総会 研修会(講演会) 交流会	10. 1予定	技能まつり会計監査		
		10. 2~3 予定	三役会 (30周年事業検討会)		

平成9年度横浜市技能職団体連絡協議会役員

三 役

役職名	氏名	職種	所属団体
会長	川上三寶	建築士	全日本建築士会神奈川県支部横浜分会会長
副会長	國峯正美	印章彫刻士	神奈川県印章業組合連合会会長
副会長	畠山滋	洋服裁縫師	神奈川県洋服商工業協同組合理事長
会計理事	堀正道	調理師	神奈川県全調理師協会副理事長

監事・常任理事

役職名	氏名	職種	所属団体
監事	田村実	繊維加工	横浜繊維加工協同組合理事長
監事	望月清三	煮豆惣菜製造業	横浜食品煮豆惣菜組合理事長
常任理事	伊藤成江	美容師	横浜市美容師会連合会会長
同上	古梶清嗣	漆器工芸師	神奈川県漆器工芸組合理事長
同上	小駒精一	花卉装飾	神花協横浜地区生花商協議会会長
同上	菊池武久	鍼灸マッサージ師	横浜市鍼灸マッサージ師会会長
同上	木村康夫	表具師	神奈川県表具経師内装協同組合横浜支部支部長
同上	三木慎介	看板製作士	横浜市技能職団体連絡協議会青年部長
同上	大橋與一	配管技能士	横浜市管工事協同組合理事長
同上	藤野永次	捺染型製造技術者	神奈川県捺染型協同組合理事長

平成9年度横浜市技能職団体連絡協議会新規加入団体

新規加入団体名	職種	代表者職氏名
首都圏建設産業ユニオン横浜支部	建築職	仕事対策部長 川上 浩
社団法人横浜塗装工業会	塗装技能士	会 長 白川 隆幸
横浜市美容組合連絡協議会	美容師	会 長 鈴木 邦彦
横浜マイスター会	——	幹 事 今村 登世二
神奈川土建一般労働組合横浜市協議会	建築職	議 長 三浦 清寿

* 横浜市技能職団体連絡協議会は、上記新規加入団体を加え、総加入団体は48団体となりました。

横浜市技能職団体連絡協議会機関紙
 発行責任者 会長 川上三寶
 事務局 横浜市中区万代町 2-4-7
 横浜市技能文化会館内
 電話 045-681-6553
 FAX 045-664-9400

「横浜市 技連協だより」題字は、國峯副会長の筆によるものです。